日常のお手入れ

ユーザー ガイド

目次

1 ハードウェアのメンテナンス

このコンピュータは耐久性があり、長期間ご使用いただけます。この章の日常のお手入れのガイドラインに従って、コンピュータの寿命を長く保ち、高いパフォーマンスを維持してください。

- コンピュータはキャリング ケースに入れて携帯および保管してください。

注意 ディスプレイの破損を防ぐため、ケースに入った状態でもコンピュータの上に物を置かないでください。

- コンピュータを直射日光、高温、紫外線に長時間さらさないでください。

注意 コンピュータまたはドライブを高温多湿な場所に置かないでください。

- コンピュータを清潔に保ってください。ほこりがたまると、内部部品の温度が上昇する場合があります。

警告！ 不快感ややけどの原因となるため、長時間にわたって通気孔をふさいだり、膝の上に置いたりしないでください。また、操作中に AC アダプタが長時間皮膚に接触しないようにしてください。アプリケーションの要求が大きいとコンピュータが使う能力も大きくなります。通常、使う能力が大きいと、長時間使用したときにコンピュータと AC アダプタが熱を発生します。このコンピュータと AC アダプタは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950) の規定に従って、ユーザーの体感表面温度が制限されています。

注意 感電やコンピュータの破損を防ぐには、次の手順を行います。

コンピュータまたはそのコンポーネントを掃除する前に、必ずコンピュータの AC コンセントを抜き、周辺機器を取り外してください。

キーボード、ディスプレイ、ドライブに液体をかけたり、濡らしたりしないでください。

注意 過熱の原因となるので、通気孔をふさがないでください。コンピュータは固い平らな面で使用してください。プリンタなどの硬い物や、クッション、厚い敷物、布などの柔らかい物で通風口がふさがれないようにしてください。

バッテリ パック

警告！　安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピュータに同梱されているバッテリ、HP が提供する交換用バッテリ、または HP から購入した互換性のあるバッテリを使用してください。

注意　故障の原因となるので、バッテリ パックを温度の高い場所に長時間放置しないでください。

コンピュータを 2 週間以上使わず、外部電源から切断する場合、バッテリ パックを取り外し、別にして保管してください。

バッテリ パックの寿命を長くするには、涼しくて湿気のない場所に保管してください。

1 か月以上保管されていたバッテリ パックは、使用する前にキャリブレーションしてください。

使用済みバッテリ パックの廃棄

警告！　発火を防ぐため、バッテリ パックを分解したり、壊したり、穴をあけたりしないでください。バッテリ パックの外部接触部をショートさせないでください。バッテリ パックを燃やしたり、水に浸したりしないでください。バッテリ パックを 60°C 以上の高温にさらさないでください。

バッテリの廃棄については、『*規定、安全、および環境に関するご注意*』を参照してください。

タッチパッドとキーボード

タッチパッド (一部のモデルのみ) に汚れや油分が付着すると、画面上のポインタの動作がスムーズでなくなる原因になります。これを防ぐには、タッチパッドを湿った布で拭き、コンピュータを使うときは手をこまめに洗ってください。

警告！ 感電や内部部品の破損を防ぐため、キーボードを掃除するときに掃除機の吸引口にじかに接触しないようにしてください。掃除機を使うと、キーボードの表面に部屋のごみがたまる可能性があります。

キーボードは定期的に掃除してキーが動かなくならないようにし、キーの下にたまっているほこりやごみを除去してください。ノズル付きのスプレー缶でキーの下に圧縮空気を噴射して、ごみを吹き飛ばすことができます。

コンピュータのキーボードにポインティング スティックがある場合、定期的に清掃してスティック パッドを交換する必要があります (交換用スティック パッドは一部のモデルに付属しています)。

ディスプレイ

汚れやごみを除去するには、柔らかく湿り気のある、けばのない布でディスプレイを頻繁に清掃してください。それで汚れがとれない場合は、湿らせた静電防止布または静電防止ディスプレイ クリーナーを使います。

注意 コンピュータの破損を防ぐため、ディスプレイには絶対に水、液体クリーナー、化学薬品をかけないでください。

ドライブ

ドライブは壊れやすいコンポーネントなので、取り扱いには注意が必要です。このセクションのガイドラインに従ってドライブを保護してください。

注意 コンピュータやドライブの破損、または情報の消失を防ぐため、以下の注意に従ってください。

ドライブを取り扱う前に、ドライブの塗装のない部分の金属表面に触れて静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブやコンピュータのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブの取り扱いは、落としたり、押しつぶしたりしないよう慎重に行ってください。

ドライブをドライブ ベイに挿入する際、力を入れすぎないようにしてください。

ドライブでメディアへの書き込みを行っている間は、キーボードの入力やコンピュータの移動を行わないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすいためです。

バッテリ パックのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリ パックが十分に充電されていることを確認してください。

ディスク デフラグの使い方

コンピュータを使用しているうちに、ハード ディスクのファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハード ディスク上の断片化したファイルやフォルダを集めて効率的に実行できるようになります。

ディスク デフラグを実行するには、次の手順を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[システム ツール]**→**[ディスク デフラグ]**の順に選択します。
2. **[今すぐ最適化]**をクリックします。

詳しくは、ディスク デフラグのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使い方

ディスク クリーンアップを行うと、ハード ディスク上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増加し、コンピュータの実行効率が高くなります。

ディスク クリーンアップを実行するには、次の手順を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[システム ツール]**→**[ディスク クリーンアップ]**の順に選択します。
2. 画面の説明に沿って操作します。

2　定期的なチューンアップ

コンピュータのハードウェアおよびソフトウェアをなるべく良好な状態に保つには、次の簡単な作業を定期的に行ってください。

- **ウイルス対策ソフトウェアをインストールおよびアップデートする。** 現在のセキュリティの脅威からコンピュータを保護するためにウイルス対策ソフトウェアをインストールします。絶え間ない新種ウイルスの脅威を防ぐため、ウイルス対策ソフトウェアを最新の状態に保ってください。
- **スパイウェアを検出して駆除するソフトウェアをインストールおよびアップデートする。** スパイウェア ツールを実行すると、コンピュータ システムへの外部からの電子的侵入が検出され、阻止されます。
- **バックアップを作成する。**ウイルスや停電が原因で情報が破損または破壊される場合があります。ファイルの消失や破損に備えるため、CD-RW、DVD+RW、または USB ドライブにファイルをバックアップしてください。
- **復元ポイントを作成する。** コンピュータに問題が発生した場合、このベンチマークにより、問題が発生する前のある時点の状態に戻すことができます。
- **PC のチューンアップ スケジュールを作成する。** ファイルのバックアップ、ウイルス ソフトウェアのアップデート、ハードウェアおよびソフトウェアのメンテナンスを行うための週間および月間の確認メモを作成します。

3　移動および運搬

コンピュータは仕事や遊びの場に携帯できますが、 良好な状態を保つため、次に示す移動および運搬上の注意に従ってください。

- コンピュータの移動または運搬を準備するには、次の手順を行います。

  a. 情報をバックアップします。

  b. すべてのオプティカル ディスクおよび外付けメディア カード (PC カード、SD メモリ カード、ExpressCard など) を取り外します。

  注意　コンピュータやドライブの破損、または情報の消失を防ぐため、ドライブをドライブ ベイから取り外す前およびドライブを運搬、保管、または移動する前に、ドライブからメディアを取り出してください。

  c. すべての外付けデバイスを、電源を切ってから切断します。

  d. コンピュータをシャットダウンします。

- 情報のバックアップを携帯します。バックアップはコンピュータとは別に保管します。
- 飛行機に乗る場合はコンピュータを手荷物として機内に持ち込み、他の荷物と分けてください。

  注意　ドライブは磁気に触れないようにしてください。磁気を使ったセキュリティ デバイスには、空港通路の機器や金属探知機などがあります。空港の手荷物検査に使われるコンベヤ ベルトなどのセキュリティ デバイスでは磁気ではなく X 線を使用するので、ドライブに悪影響はありません。

- 機内でコンピュータを使用する場合は、事前に航空会社に確認してください。機内でのコンピュータの使用を許可するかどうかは航空会社の判断に委ねられます。
- コンピュータを 2 週間以上使わず、外部電源から切断する場合、バッテリ パックを取り外し、別途保管してください。
- コンピュータまたはドライブを運搬する場合、エアキャップなどで梱包して適切に保護し、「壊れ物注意」のラベルを添付してください。
- コンピュータに無線デバイスまたは携帯電話デバイス (802.11 b/g、Global System for Mobile Communications (GSM)、General Packet Radio Service (GPRS) デバイスなど) がインストールされている場合、これらのデバイスの使用は制限されることがあります。このような制限は、飛

行機の機内、病院、爆発物の近く、危険な場所などで適用される可能性があります。特定の機器の使用に適用される規定が不明な場合は、電源を入れる前に使用許可を求めてください。

- 国外に移動する場合：
  - 行き先の各国のコンピュータに関する税関規制を確認してください。
  - コンピュータの使用場所となる各地の電源コードやアダプタの仕様については、カスタマケアにお問い合わせください。電圧、周波数、およびプラグの構成は地域によって異なります。

警告！ 感電や機器の破損を防ぐため、電気器具用の電圧変換器でコンピュータの電源を入れないようにしてください。

索引